

－ 『第2回地場産業再生 MOT フォーラム』を開催しました－

2月6日（月）、『第2回地場産業再生 MOT フォーラム』を開催しました。

第2回となる今回のフォーラムは、滋賀県における地場産業や伝統工芸の活性化をねらいとした、新商品開発への挑戦事例、MOT（技術経営）をベースにした取り組み事例を紹介することを目的としています。

産業共同研究センター山本特任教授の司会のもと、室井理事から滋賀大学、センターの紹介があり、特別講演としてSociety for Advancement of Management 日本チャプター会長の澤泉様よりテーマ「セレンディピティで夢を追いかける」をご講演いただきました。『セレンディピティ』とはどのように生まれた言葉なのか、「偶然」と「察知」により「思いがけない発見」をすることを説かれました。また夢を追いかけるために「セレンディピティ・カード」の活用を勧められました。このフォーラムで出会った人や出来事を大事に記憶にとどめて繰り返して活かすこと、情報を熟成することで異業種の融合にもつながることを伝えられました。

コーヒブレイクのあと、滋賀県の地場産業と伝統工芸の挑戦として、信楽窯業技術試験場長の川口様より「信楽焼の挑戦」、高橋織物(株)代表取締役の高橋様より「高島綿織物の挑戦」、(株)井上代表取締役の井上様より「彦根仏壇の挑戦」、(株)太陽専務取締役の中川様より「伝統工芸和紙の挑戦」のテーマでご講演いただきました。伝統産業の各分野での取り組みがよくわかり、活発な質疑応答が行われました。

最後に野本センター長より取組について紹介があり、閉会となりました。

60名の参加者の方々の熱心な聴講の様子が印象的で、とても充実した MOT フォーラムとなりました。



澤泉氏



質疑応答



川口氏



高橋氏



井上氏



中川氏